

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名 緩和ケアチーム介入患者の介入状況に関する後方視的研究

研究責任者 藤田保健衛生大学医学部 外科・緩和医療学講座 東口高志

近年、がん患者様に対しての緩和ケア介入はがん対策基本法でも重点課題として取り上げられ、がん患者様とご家族に対してがん診断時からの緩和ケア介入が推進されています。早期からの緩和ケア介入の意義として、患者様・ご家族の価値観に基づく意思決定の支援や、生活の質(QOL)あるいは予後の改善が報告されています。当院では緩和ケアチームが、がん治療中の患者様・ご家族のサポートを行っております。当院の緩和ケアチーム介入状況を、がんの種類や介入期間中の全身状態、予後などから明らかにし、現状を分析することで、がん患者様の QOL 向上や、より早期からの緩和ケアチーム介入に寄与できると考えられます。私たちは、2015年9月以降2016年9月までに当院緩和ケアチームの介入を受けられた約350名の患者様を対象に、以下の内容を調査することと致しました。

調査項目は以下の内容となります。

- ・基本情報:年齢、性別、診断名、介入時の ECOG-Performance Status (PS)
- ・主治医の予後予測(1週間未満、1ヶ月未満、3ヶ月未満、半年以上、その他)
- ・緩和ケアチーム介入開始日と死亡日、死亡した病棟、入院期間・入院歴
- ・症状アセスメントシートの点数と自由記載等の内容
- ・臨床栄養指標等の関連項目
- ・検査データ、バイタルサイン、画像データ等の全身状態の指標となる項目
- ・診療録・看護記録内容等をもとにした全身状態と全人的苦痛の有無とその内容

本研究の実施につきまして、データの利用目的を含む情報を本ホームページ上で公開いたします。研究のより詳しい内容をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報保護やこの研究の独創性確保に支障がない範囲で、資料を閲覧していただくことが可能です。希望される場合は、担当研究者にお申し出下さい。本研究の対象になる患者様で、自身のデータ利用を除外してほしいと希望される方は、下記問い合わせ先までご連絡下さい。速やかにデータベースより全ての情報を削除し、研究対象から除外いたします。なお、除外のお申し出により患者様・ご家族が不利益を被ることは一切ございませんのでご安心下さい。その他、本研究に関するお問い合わせは、下記の問い合わせ先へお問い合わせ下さい。内容を確認の上、研究者より適切にお返事させていただきます。

本研究の実施により、がん患者様とご家族の QOL 向上につながると考えます。ご理解とご協力の程、よろしくお願いたします。

【問い合わせ先】 藤田保健衛生大学病院 看護部 公衆衛生看護科

看護副主任：吉村 元輝（よしむら げんき）

TEL：0562-93-2923 FAX：0562-93-2923